



## 第1回/第2回青森 BHELP 標準コース 受講生募集案内

BHELP (Basic Health Emergency Life Support for Public) とは、「発災直後から避難所での活動を効果的・効率的に実践するために、災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです。

日 時：【第1回】平成31年1月19日(土) 9:30~17:00 受付 9:00~  
【第2回】平成31年1月20日(日) 9:30~17:00 受付 9:00~  
※両日、同じ内容のコースを実施します。どちらか1日の受講になります。  
場 所：弘前医療福祉大学共用棟 (〒036-8104 青森県弘前市扇町2丁目5)  
管理世話人： 峯田 雅寛 (山形県立中央病院)  
コース世話人： 田口 裕紀子 (札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター)  
小澤 美津子 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)  
コース運営担当者： 中川 貴仁 (弘前医療福祉大学短期大学部 救急救命学科)

募集人数：各日 36名

受講費：6,000円 (当日徴収) ※別途、資料代を徴収する場合がございます。

### 【コース概要】

軸は **CSCAHHH**：Command & Control (指揮統制/調整)、Safety (安全の確保)、Communication (情報伝達)、Assessment (評価)、Healthcare Triage (ヘルスケア・トリアージ)、Helping Hand (手を差し伸べる)、Handover (つなぐ)

#### 1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法 ・被災地域内外の支援者との連携協力

#### 2) 机上演習：講義で学習した内容を活用して、以下の机上演習を行います。

- ・トリアージ ・保健福祉的視点によるトリアージ ・CSCA を意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の評価 ・避難所のレイアウト

【申込方法】日本災害医学会ホームページ内『DPORT (災害医療イベントポータルサイト)』より、各回の「青森 BHELP 標準コース」を選択してお申し込み下さい。

<https://mcls.jp/dport/?evType=BHELP>



【締め切り】定員に達し次第、締め切ります。

#### 【お問い合わせ】

- ・受講 1 週間前までに受講可否のご連絡がない場合/キャンセルの場合  
コース運営担当者 中川貴仁 (なかがわたかひと) [mcsyatyo@yahoo.co.jp](mailto:mcsyatyo@yahoo.co.jp)
- ・その他、コースに関して  
青森コース担当/BHELP 運営委員会 峯田雅寛 (みねたまさひろ) [m.mineta2627@gmail.com](mailto:m.mineta2627@gmail.com)

※ 開催施設や学会事務局では問い合わせに対応しておりませんのでご注意ください。

## ●学習目標

- (1) 災害対応に関する共通言語と共通原則がわかる
- (2) 自らの生命を守るための行動が想定できる
- (3) 被災した住民の生命を守るための行動がわかる
  - 1) 傷病者の救護：CSCATTT
  - 2) 要配慮者の救護：CSCAHHH  
Health care Triage ヘルスケアトリアージ  
Helping Hand 手を差し伸べる  
Handover つなぐ
- (4) 住民の健康維持に配慮した避難所の設営と運営の留意点がわかる
- (5) 要配慮者への体制整備（福祉避難所）の必要性がわかる

## ●標準コース受講資格

「被災地域内で発災直後から支援者となり得る医療・保健福祉に関連する専門職および防災業務に従事する行政職員」とする。次に掲げるいずれかであること。

- (1) 医師
- (2) 歯科医師
- (3) 看護職（保健師、助産師、看護師、准看護師）
- (4) その他の医療専門職（薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、栄養士、管理栄養士、歯科衛生士等）
- (5) リハビリテーション関連専門職（理学療法士、作業療法士、柔道整復師等）
- (6) 福祉関連専門職（社会福祉士、介護福祉士等）
- (7) 救急救命士
- (8) 防災業務に従事する行政職
- (9) (1)～(7)の受験資格を得ることができる教育機関の学生または生徒
- (10) その他、BHELP 運営委員会が認める者

## ●BHELP 標準コースプログラム

|             |        |                       |
|-------------|--------|-----------------------|
| 09:30-09:40 |        | オリエンテーション             |
| 09:40-10:00 | 講義     | BHELP 標準コースの概要        |
| 10:00-10:35 | 演習     | 自らの生命を守るための行動と備え      |
| 10:35-11:20 | 講義     | 災害対応に関する共通言語 CSCATTT  |
| 11:20-11:30 | 演習     | 発災直後の指定緊急避難場所での応急的な対応 |
| 11:30-12:25 | 休憩(昼食) |                       |
| 12:25-13:15 | 講義     | 要配慮者対応の共通言語 CSCAHHH   |
| 13:15-13:50 | 演習     | 要配慮者の生命と健康を守るために      |
| 13:50-14:20 | 講義&演習  | 避難所の生活環境アセスメント        |
| 14:20-14:35 | 演習     | 避難所で生じやすい健康問題と予防対策①   |
| 14:35-15:15 | 演習     | 避難所で生じやすい健康問題と予防対策②   |
| 15:15-15:25 | 休憩     |                       |
| 15:25-16:30 | 演習     | 生活環境改善のためのレイアウト       |
| 16:30-16:35 | 筆記試験   |                       |
| 16:35-16:50 | 講義     | 福祉避難所開設、福祉避難所の管理運営    |
| 16:50-17:00 | 修了式    |                       |